

3月22日

テーマ：「主の日は盗人のように来る」

聖書箇所：ペテロの手紙第二 3章 10節

◆今日のみことば

しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。ペテロの手紙第二 3章 10節

◆メッセージ

電話がなりました。あら、こんなじかんにだれかしら？ママが電話に  
でると、電話のむこうの人がいました。「もしもし、明日、あなたのお  
うちにどろぼうにはいますね。そのとき、あなたのおうちのおたから  
をぬすみませう。だから、おたからを用意しておいてください。」そして電話  
はきれました。ママは目をまんまるくしておどろきました。「えーっ！なん  
ですってー！たいへんだわ！」こんなことあるのでしょうか？予告状を  
だしてからどろぼうにはいるのは、名探偵コナンに出てくる怪盗キッド  
(知ってる?)ですが、こんなどろぼう、ふつうはいませんね。



どろぼうはだれも知らないときに来て、そっとおたからをちょうだいしていきます。「そっと」  
だから、どろぼうなんです。

今日の聖書はイエスさまはどろぼうのようにくる、といっています。えーっ、イエスさまってど  
ろぼうだったの!?もちろんちがいます。まるで、どろぼうみたいにそっと来られる、というい  
みです。え、イエスさまはいつくるの?予告状をだしてくださらないので、わからないのです。そ  
と来られるのです。



「イエスさまはまたくるの?ということはイエスさまに会えるの?」と  
思いますね。そうなんです。今は目に見えなくて、でも私たちが愛してくだ  
さっているイエスさまに、いつかはっきりおかおを見てお会いできるとき  
がかならず来ます。イエスさまってどんなおかおかなあ?おとうさんより  
かっこいいかなあ?ワクワクしますね。そのイエスさまにお会いできる日  
がそっとちかづいてきてるよ、とみことばはっています。

そうだとしたら、のんびりしてられませんね。イエスさまに今日も明日もしたがってあゆみた  
いですね。だって、イエスさまは明日こられるかもしれませんから。

◆お祈り

「イエスさまにお会いできるのをたのしみにまちながら、今日も(明日も)イエスさまにした  
がえるようにたすけてください。」

(国立キリスト教会牧師 本澤敬子)